

JFEロックファイバー株式会社

銘柄コード

-

法人番号

3260001012965

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	21	窯業・土石製品製造業
細分類 (申請事業)	2191	ロックウール・同製品製造業
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】	

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業における エネルギー消費原単位※注 (2024年度実績)			原単位分母		
	主たる事業 の構成割合		%		
事業者全体の エネルギー消費原単位 対前年度比	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)					

※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2024年度実績)	原単位分母				
	DR実施日数				
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
事業者全体の 5年度間平均原単位変化					

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準	kℓ/t以下	
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準	kℓ/t以下	
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準	-	
ベンチマーク指標の状況	-	

エネルギー総使用量	480,076	GJ	12,386	kℓ
前年度エネルギー 総使用量				kℓ
非化石エネルギー 総使用量		GJ		kℓ
調整後温室効果ガス 排出量				t-CO ₂

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量の量】

種別	合計量	
Jクレジット		t-CO ₂
-	-	t-CO ₂
-	-	t-CO ₂
-	-	t-CO ₂

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	30.0%				
直近5年度間の実績値	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
					26.6

目安設定業種					
目安(2030年度)					
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
目安設定業種	-		-		
目安(2030年度)	-				
	-				
目標(2030年度)	-				
直近5年度間の実績値	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
					-

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

ロックウールの製造において、原料である高炉スラグの昇熱・成分調整・保熱を行う電気炉でのエネルギー消費が最も多い。電気炉の炉壁レンガを定期的に取り替え、炉壁からの放散熱を削減する。また、原料は基本的に高炉熔融スラグを受け入れて使用するが、原料不足時は冷スラグを溶解して原料化するため、製販バランスを製品在庫の増減でカバーすることにより原料不足時の冷スラグの使用を抑制し、電力使用量を抑制する。
また、製造工場内照明のLED化を順次進めていき、省エネ機器の導入による消費エネルギーの削減を実施する。

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

使用する電気は、電気事業者からの買電が大半であるため、電気の非化石比率は電気事業者の非化石比率に依存する。
当社の製品の中の住宅用ロックウール断熱材の製造量・販売量拡大により、優れた断熱効果によって冷房や暖房などの生活エネルギーを大幅に減らし、各家庭の省エネルギー化に貢献することで化石燃料の使用量を削減する。

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

1. 自由記述欄（カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について）

2. 関連リンク

(注意事項)

- 赤枠囲み欄は必須記載です。
- 再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。